

渡邊 亮

2 学術論文

- 1) Suwanai, H., Watanabe, R., Sato, M., Odawara, M., & Matsumura, H. (2020). DPP-4 Inhibitor Reduces the Risk of Developing Hypertrophic Scars and Keloids following Median Sternotomy in Diabetic Patients: A nationwide retrospective cohort study using the National Database of Health Insurance Claims of Japan. *Plastic and reconstructive surgery*, 146(1), 83-89.
<https://doi.org/10.1097/prs.00000000000006904>.
- 2) 松村一, 佐藤宗典, 諏訪内浩紹, 渡邊亮. (2020). 「ケロイド・肥厚性瘢痕に対する薬物療法の展望」『ケロイド治療ジャーナル』14: 11 – 13.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一社)日本医療情報学会 医療情報技師育成部会広報渉外委員会委員
- 2) 一社)日本医療情報学会 選挙管理委員会委員
- 3) 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 科学技術調査員
- 4) 一橋大学社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター 客員研究員
- 5) かながわ健康プラン 21 目標評価ワーキングチーム 構成員
- 6) 公衆衛生大学院プログラム校連絡会議 構成員
- 7) 一般社団法人日本ユーザビリティ医療情報化推進協議会 医療情報基本法推進プロジェクト委員会 委員
- 8) 一般社団法人次世代基盤政策研究所 上席研究員
- 9) 神奈川県政策局ヘルスケアニューフロンティア推進本部室 アドバイザー

5 社会貢献

- 1) 神奈川県「新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部保健所支援者」(県保健福祉事務所への支援)
- 2) 東京医科歯科大学医歯学総合研究科非常勤講師

6 講演, 放送

- 1) 未病産業研究会主催「公衆衛生学入門講座」講師
- 2) 神奈川県主催(イノベーション政策研究センター受託事業)「健康づくりのためのデータ活用研修 2020」講師
- 3) 九州大学大学院医学系学府「医療経営学」講師
- 4) 神戸大学「課題解決型高度医療人材養成プログラム 実践的病院経営マネジメント人材養成プラン」講師
- 5) 東京理科大学工学部「キャリアデザイン」講師
- 6) 一橋大学「HIAS Health 社会連携プログラム 第3回医療経済短期集中コース」チューター

7 学会等での活動

- 1) 鄭雄一, 坂巻弘之, 渡邊亮: 神奈川県立保健福祉大学における専門職教育と公衆衛生活動の統合に向けた取り組み. 第79回日本公衆衛生学会総会(京都市・オンライン), 2020年10月

8 学内教育活動

- 1) 健康・医療政策 (ヘルスイノベーション研究科修士1年前期, 科目責任者)
- 2) ヘルケア管理学 (ヘルスイノベーション研究科修士2年前期, 科目責任者)
- 3) 未病社会のライフデザイン (ヘルスイノベーション研究科修士1年後期, 科目責任者)
- 4) 演習基礎 (ヘルスイノベーション研究科修士1年後期)
- 5) ヘルスイノベーション研究科修士課程学生 指導教員
- 6) ヘルスイノベーション研究科修士課程学生 指導補助教員
- 7) ヘルスイノベーション研究科修士課程課題研究 主査
- 8) ヘルスイノベーション研究科修士課程課題研究 副査

9 学内各種委員会活動

- 1) ヘルスイノベーション研究科 研究科長特別補佐
- 2) ヘルスイノベーション研究科 運営委員会委員
- 3) ヘルスイノベーション研究科 入試委員
- 4) ヘルスイノベーション研究科 企画担当委員
- 5) 地域貢献研究センター地域貢献部門 委員
- 6) イノベーション政策研究センター プロジェクト担当
- 7) 神奈川県立保健福祉大学誌 査読委員

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 「医薬品・医療機器の費用対効果評価における NDB の活用可能性の検証」日本学術振興会: 基盤研究(C). 研究期間: 2017年4月-2021年3月. 代表者: 渡邊亮.
- 2) 「高感度トロポニンTを用いた0-1hrアルゴリズムの導入医療費の削減効果の検討」日本学術振興会: 基盤研究(C). 研究期間: 2018年4月-2023年3月. 代表者: 井上健司.
- 3) 「公的資金が投入されている医療の公共性と公共財としての在り方に関する研究」日本学術振興会: 基盤研究(B). 研究期間: 2020年4月-2023年3月. 代表者: 小林大介.
- 4) 「急性期病院におけるフレイルおよび高齢者の総合的アセスメントに関する研究」日本学術振興会: 基盤研究(C). 研究期間: 2019年4月-2023年3月. 代表者: 大西丈二.
- 5) 「医療機関における経営企画機能のあり方に関する調査研究」日本学術振興会: 基盤研究(C). 研究期間: 2017年4月-2021年3月. 代表者: 阪口博政.
- 6) 「携帯電話関連技術を用いた感染症対策に関する包括的検討」社会技術研究開発セン

ター：科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的実践研究開発プログラム。研究期間 2020 年 9 月-2023 年 8 月。代表者：米村滋人。